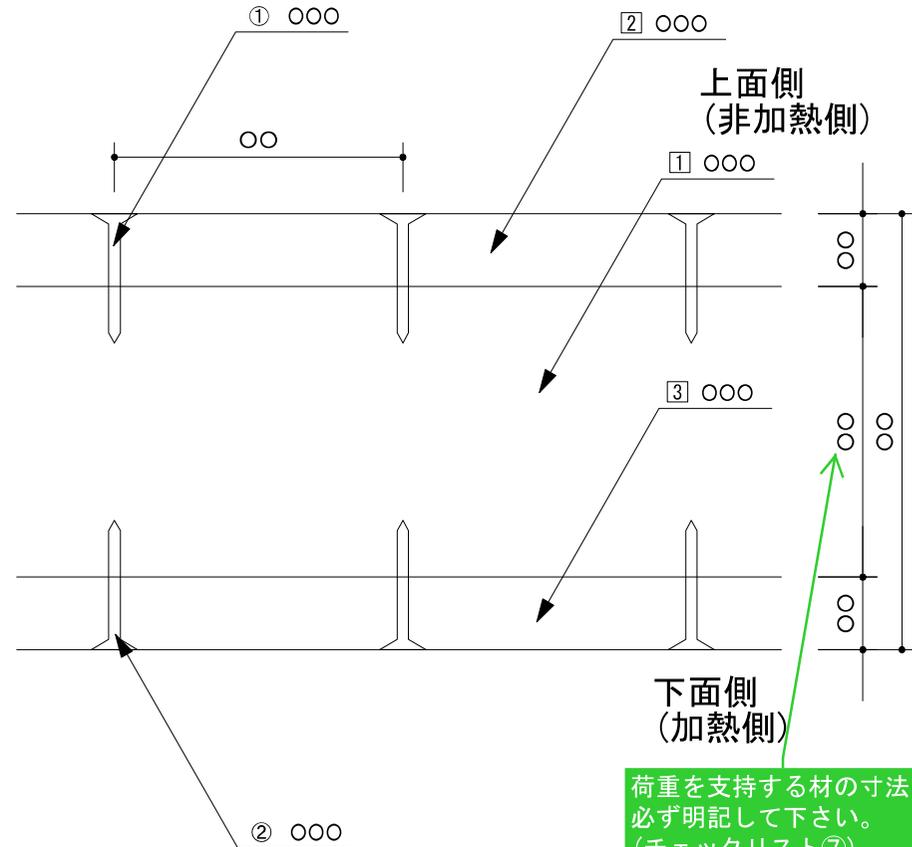


A部断面詳細図



B部断面詳細図

荷重を支持する材の寸法は必ず明記して下さい。(チェックリスト⑦)

はり・耐火被覆などの評価対象外の部材も図示し、仕様を記載して下さい。
例：はり (H-200x200x8x12)
けい酸カルシウム板25mm被覆

- ・必要に応じて詳細図等を追加して下さい。(断面詳細、目地詳細、金物詳細、面材割付など) (チェックリスト⑥)
- ・試験体に使用した材料は全て図示して下さい。(チェックリスト⑨)
その際、項目名(材料名)および項目番号は評価図書と整合させて下さい。(チェックリスト⑩)
- ・A4で出力したときに適切な文字サイズにして下さい。(チェックリスト⑪)
- ・鋼材・内部温度を測定する場合、測定位置が図示された参考図を試験体図とは別に作成して下さい。(チェックリスト⑫)

図-2 試験体図 (寸法単位: mm)

試験体図面作成チェックリスト(申請者様用)

試験体図面作成時に、以下の内容をチェックして下さい。受付から申請までの手続きをスムーズに進めるため、ご協力をお願いします。 当所でのチェックは3回に分かれます。その都度修正をご依頼させていただくことがありますので、予めご了承下さい。 (受付時、評価委員会審議前、国交省申請前)					
		チェック項目	申請者様 チェック 欄	メモ欄	GBRC チェックの タイミング
試験 体 図	平面図 ・ 断面図	① 支持スパン、試験体の外寸を記載して下さい。			受付前
		② 平面図、各方向の断面図を図示して下さい。			受付前
		③ 断面図の向き（切断箇所を示す矢印の向き）を正しく記載して下さい。			受付前
		④ 測定位置（加熱温度、裏面温度、たわみ量）を記載して下さい。 （具体的な位置は当所担当職員とお打合せ下さい。）			評価委員会 審議前
		⑤ 測定位置の凡例を記載して下さい。			評価委員会 審議前
	全 体	⑥ 必要に応じて詳細図等を追加して下さい。 （断面詳細、目地詳細、金物詳細、面材割付など）			受付前
		⑦ 寸法を記載して下さい。 （荷重支持部材の寸法は必ず明記して下さい。）			受付前
		⑧ 寸法はすべて限定してください。 （「以上」「以下」など範囲表記としないで下さい。）			受付前
		⑨ 試験体の使用材料は全て図示して下さい。			国交省 申請前
		⑩ 項目名（材料名）および項目番号は評価図書と整合させて下さい。			国交省 申請前
		⑪ A4で出力したときに適切な文字サイズにしてください。			国交省 申請前
その他	⑫ 鋼材・内部温度を測定する場合、測定位置が図示された参考図を試験体図とは別に作成して下さい。			受付前	